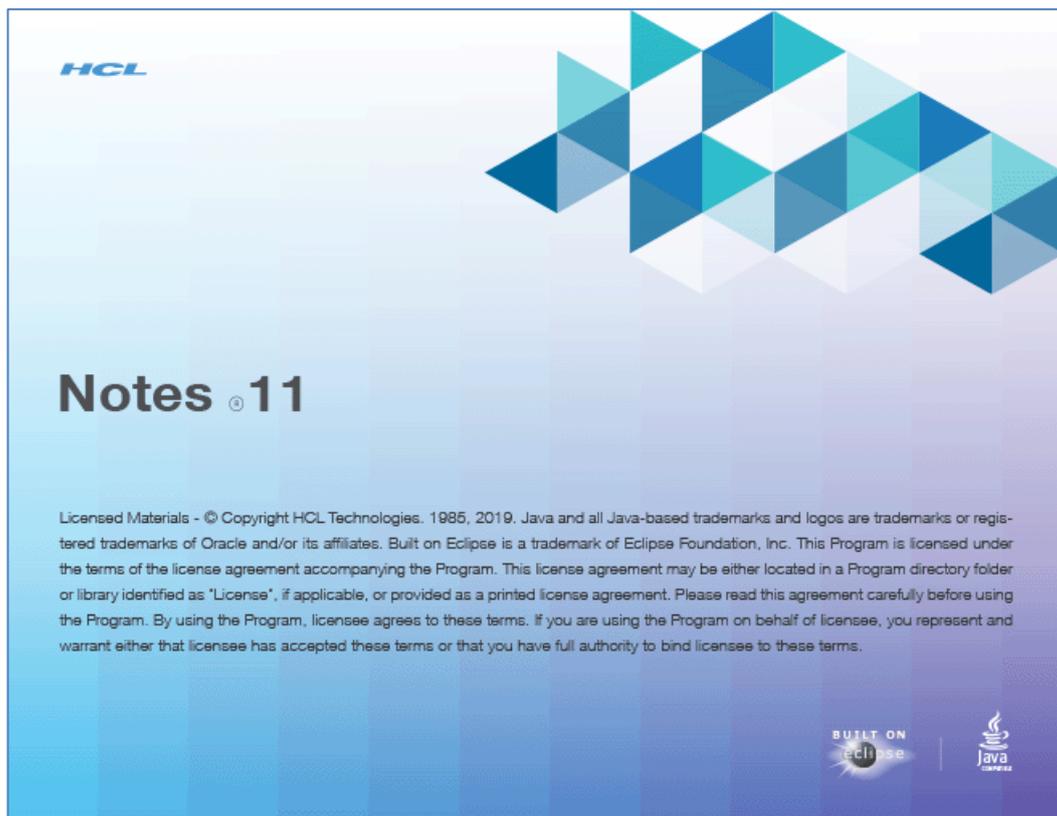


HCL Notes/Domino Version 11.0 Beta 1

HCL Notes/Domino 11 リリースノート

Doc Version: 2019/09/03



Send comments in English to:
kendra.bowker@pnp-hcl.com
natalie.mezzina@pnp-hcl.com



もくじ

新機能のドキュメントについて	3
ベータ版に含まれていないコンポーネント	3
リリース 11 で含まれなくなったコンポーネント	3
システム要件	3
Domino/Traveler	3
Notes	3
インストール (Domino)	4
インストール (Notes)	4
既知の問題 (Domino)	4
Java コンソールに読み込み中にエラーが表示される	4
SLES でのインストールの問題	4
Installation details shows one data folder for multiple partitions	4
Symantec Endpoint Protection のポップアップ	4
Directory Sync 機能に関する既知の問題	5
LDAP ポート指定をしたディレクトリー・アシスタンスで妥当性エラー	5
Windows 上で別のコマンド・プロンプト・ウィンドウで V11 Domino Server Controller が動作する。	6
daoscat.nsf を新しいバージョンのアップグレードするとエラー	6
既知の issues (Notes)	6
Windows 10	6
一般事項	6
既知の問題 (Sametime)	7
制限事項 (Traveler)	8
一般	8
カレンダー	8
既知の問題 (Traveler)	8

新機能のドキュメントについて

このベータ版では、Notes ユーザーと Domino 管理者向けに多くの機能強化と新機能が提供されています。詳細については、「HCL Notes/Domino 11 の新機能」を参照してください。

ベータ版に含まれていないコンポーネント

Notes/Domino の双方で、ベータ 2 に含まれる追加の機能と機能拡張が予定されています。

リリース 11 で含まれなくなったコンポーネント

次のインストール・オプションは、Domino 11 ではサポートされていません。

- Windows での Console モード
- Windows での Express モード (install.exe -express)
- Linux/Unix でのリモート・インストール
- isXSP XSP モード (アプリケーション・サービス・プロバイダー)

注意: 利用可能なパーティションの数は 8 以下になりました。

システム要件

Domino/Traveler

このベータ版でサポートされている Windows Server のバージョン:

Version	Hardware	Bitness
Windows Server 2012 R2 Datacenter Edition	x86-64	64-Exploit
Windows Server 2012 R2 Standard Edition	x86-64	64-Exploit
Windows Server 2016 R2 Datacenter Edition	x86-64	64-Exploit
Windows Server 2016 R2 Standard Edition	x86-64	64-Exploit
Windows Server 2019	x86-64	64-Exploit

このベータ版でサポートされている Linux サーバーのバージョン:

Version	Hardware	Bitness
Red Hat Enterprise Linux (RHEL) Server 7.4	x86-64	64-Exploit
SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 12	x86-64	64-Exploit

Notes

このベータ版でサポートされている Windows バージョン:

Version	Hardware	Bitness
Windows 7.1 Enterprise	x86-32	32
Windows 7.1 Professional	x86-32	32
Windows 10 Pro	x86-32	32
Windows 10 Enterprise	x86-32	32
Windows 7 Enterprise	x86-32	32
Windows 7 Professional	x86-32	32

このベータ版でサポートされている Mac のバージョン:

- 10.13、および、10.14

インストール (Domino)

The new Domino installation platform is InstallAnywhere (IA). The installer's functionality is similar to that of V10, but with minor differences in the UI. 新しい Domino インストールプラットフォームは、インストールエンジニア(IA)です。インストーラの機能は V10 の機能に似ていますが、UI には若干の違いがあります。

注意: ベータ版には Domino 11 の新規インストールが必要です。以前のリリースからのアップグレードはサポートされていません。

インストール (Notes)

新しい Notes クライアントをインストールする場合は、すべてのディレクトリーとレジストリが HCL ブランド化されることに注意してください。既存の Notes クライアントをバージョン 11 にアップグレードする場合は、前の(IBM の)ディレクトリー・パスを使用できます。

以前のベータ 1 ビルド (V11 のプライベート・ベータ・ビルド) をインストールしたユーザーは、V11 ベータ 1 をインストールする前にそれをアンインストールする必要があります。プライベート・ベータ・ビルドからベータ 1 へのアップグレードは、Windows と Mac の両方でサポートされていません。

注意: このベータ版では、Notes 10 クライアントから Windows と Mac とで、アップグレードがサポートされています。Windows の 9.0.1、あるいはそれより前のバージョンからのアップグレードはサポートされていません。**サポートされていないバージョンの Notes がある環境で V11 をインストールする場合には、現在のバージョンをアンインストールしてから Notes 11 をインストールする必要があります。**

既知の問題 (Domino)

Java コンソールに読み込み中にエラーが表示される

表示されるエラーは次のとおりです。

Exception in thread "AWT-EventQueue-0" javax.swing.text.StateInvariantError: Can't render:
現在、この問題の解決策はありません - Java コンソールのデバッグ・コンソール・ウィンドウがベータ版で無効になっています。

注意: このエラーは、Java コンソールのサイズが小さい場合に最も頻繁に発生します。(SPR: ERYRBESR5S)

SLES でのインストールの問題

このベータ版では、GUI のインストールは SUSE Linux エンタープライズ サーバー(SLES)ではサポートされていません。コンソール・モードとサイレント・モードで Domino を正常にインストールするには、DISPLAY 環境変数の設定を解除する必要があります。(SPR: AGOLBFNFTQ)

Installation details shows one data folder for multiple partitions

複数のパーティションをインストールする場合、InstallAnywhere インストールの詳細ページには 1 つのデータ・フォルダーしか表示されません。ただし、各パーティションは独自のデータ・フォルダーに正しくインストールされます。(SPR: SMAUBFK74U)

Symantec Endpoint Protection のポップアップ

Symantec Endpoint Protection クライアントを使用し、Domino のインストール時に警告のプロンプトが表示された場合には、実行を許可してください。これは誤検知であり、セキュリティ上の問題はありません。(SPR: AYAVBEZE27)

Directory Sync 機能に関する既知の問題

- ユーザーまたはグループが Active Directory から削除されると、Domino ディレクトリー側で削除が直ちに発生しない場合があります。この問題を回避するには、次の手順ですべてのデータを再同期します。(SPR: MOBNBFGNMT)
 1. Domino ディレクトリーを開きます。
 2. **Configuration > Directory > Directory Sync** を選択します。
 3. 同期させたいドメインの Directory Sync Configuration 文書を選択します。
 4. **ReSync** ボタンをクリックします。
- When members of a group are deleted in Active Directory, the deletions do not carry over to the Domino directory. ? グループのメンバーが Active Directory で削除された場合、削除は Domino ディレクトリーに引き継がれていません。(SPR: VMRUBFBKV3)
- AD DirSync を使用して Domino ディレクトリーに同期された Notes ではないユーザーには、メール・システムの種類が与えられていない、つまり、連絡先レコードに MailSystem アイテムが存在しません。その結果、Notes クライアントを使用してこれらのユーザーにメールを送信する場合、ルーターは Notes 経由でメールを配信しようと試みますが、"Recipient's Domino Directory entry does not specify a valid Notes mail file"の不達通知が生成されます。(SPR: MDLSBFGSKZ)
- 次のディレクトリー同期ログの問題が現在発生しています。
 - 同期中にドキュメントが無視された場合、ログは理由を説明したり、スキップ・カウントに含めません。(SPR:MOBNBFES2U)
 - メールアドレス 'AD' を伴うエントリーが、間違ったアドレスをログに記録する。(SPR: MOBNBFBG23)
 - Active Directory に新しく追加されたユーザーが Domino に同期されると、"Adds = 0, Modifies = 1"がログに記録されます。(SPR: MOBNBFALTV)
- Active Directory で登録されているユーザーを Domino で Notes ユーザーとして登録すると、"Rename Common Name Requests" というシステム管理プロセスが作成されます。しかし、管理プロセス・ログのアクション・フィールドには "error: Unrecognized Request: 189" が記録されます。(SPR: VMRUBF257C)

LDAP ポート指定をしたディレクトリー・アシスタンスで妥当性エラー

LDAP ディレクトリー・アシスタンス文書を開くと次のエラーが発生します。“Comparison operators must be supplied two values of the same data type.” この問題を回避するには、da.ntf の"Directory Assistance"フォームの LDAP タブにある LDAPPort フィールドで、Input Validation 式を修正します。赤字部分が変更点です。

```
msg1:="The port cannot be negative. Please enter a port number between 0 and 65535.";
```

```
msg2:="The port cannot exceed 65535. Please enter a port number between 0 and 65535."; ErrorMessage := @If(
```

```
    DomainType = "Notes" | !@IsDocBeingSaved; "";
```

```
    LDAPPort < 0; msg1;
```

```
    LDAPPort > 65535; msg2;
```

```
    "");
```

(以下省略)

Windows 上で別のコマンド・プロンプト・ウィンドウで V11 Domino Server Controller が動作する。

回避策: これを抑止するには、notes.ini に showControllerStatusWindow=0 を設定します。(SPR # RSSNBFAL4P)

daoscat.nsf を新しいバージョンのアップグレードするとエラー

daoscat.nsf を 10.0.1FP3NP から V1100_08162019NP にアップグレードすると、以下のテキストを含むエラーとなります。
 PANIC: ASSERT(("Should find handle on chain!", !isNullHandle(cur))) failed in database
 /datafs/local/notesdata/daoscat.nsf.... (SPR: JPAIBF7JMR)

既知の issues (Notes)

Windows 10

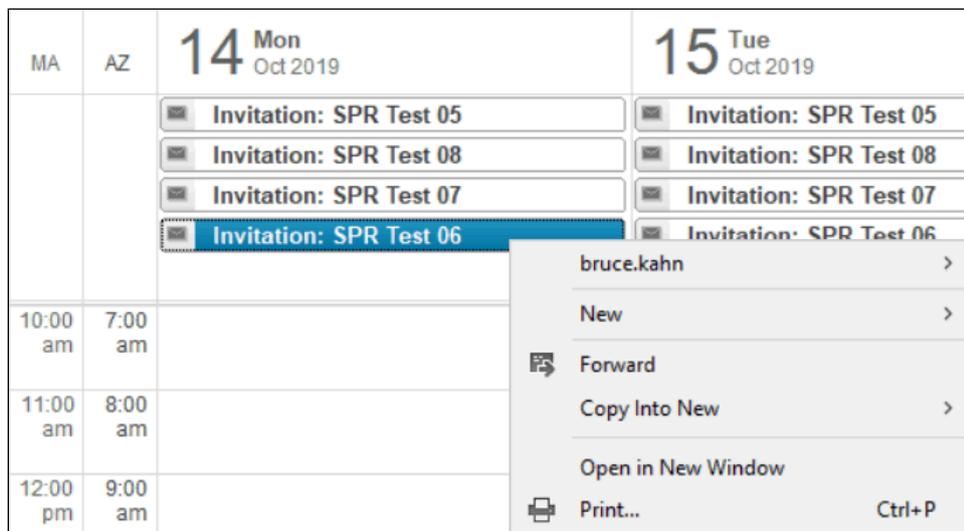
Windows 10 にインストールする場合、Windows 10 はバージョン 1903 アップグレードする必要があります。アップグレードせずにインストールを行うと、“Error 1935. An error occurred during the installation of assembly component”のエラーが発生します。

一般事項

- メールビュー/フォルダーで、メールの件名にバックスラッシュがある場合、バックスラッシュの代わりに日本円(¥)の文字が表示されます。(SPR: AGUDBEDW25)
- Sent フォルダーから Copy into New > To do を選択し、Assign to Others をクリックして、Save & Send をクリックすると、“NotesUIDocument: Save cancelled.” のエラーが表示され、保存がキャンセルされます。(SPR: PPUEBERJ2L)
- 新しい予定表入力フォームでは、環境設定の大きなフォントが正確にサポートされていません。Large Fonts を選択すると、ユーザー インターフェイスの特定の部分が正しく表示されません。(SPR: AYAVBD8DT3):

The screenshot shows the 'Meeting' form in Notes. The 'When' section is expanded, showing the start and end times. The start time is 'Mon 17-06-2019 15:00 Local time' and the end time is 'Mon 17-06-2019 16:00 Local time' with a duration of '1 hour'. A red box highlights the end time field. The 'Who' section on the right has 'Required', 'Optional', and 'FYI' sections, each with an 'Enter details' button. The 'Where' section at the bottom has a 'Location' field.

- カレンダー・ビューで 24 時間以上の会議出席予定を右クリックしても、アクション・メニュー全体が表示されません。Accept、Decline、Respond などの招待アクションは、ダブルクリックして新しいウィンドウで開かない限り、表示されません。(SPR: BKANBESTD2):



- 新しいメールエディタツールバーは、マイナーな UI の問題 (テキストの揺れ) を引き起こすため、デフォルトでは無効になっています。notes.ini ファイルに EnableEmbeddedToolbar=1 を追加することで、この機能を有効にできます。
- Eclipse が、インストールしようとしている一部のプラグインの署名を検証しようとすると、ログ・ファイルのみに次のエラーが記録されることがあります。“java.io.IOException: Cannot find keystore.JCEKS.Eclipse_OpenJ9_VM.IBM.” (SPR: IFBTBEYEXQ)

既知の問題 (Sametime)

Preference の設定画面で、Preference のメニューで移動すると、エラー メッセージが表示されます。再現手順は次のとおりです。

1. HCL Notes Beta 1 V11 クライアントをインストールします(Mac または Windows)。
2. File メニューをクリックします。
3. Preference に移動します。
4. External Meeting Provider をクリックします。
5. その他の Preference 設定をクリックします。
6. エラーポップアップメッセージが画面に表示され、他の設定をクリックすることはできません。ポップアップ ウィンドウに“ The currently displayed page contains invalid values” のエラー・メッセージが表示されます。(SPR: PPUEBF87S7)

回避策

以下に示す 2 つのオプションのいずれかを実行します。

- 外部ミーティング・プロバイダーの設定で、“Enable launching a meeting in a conversation”のチェックを外します。

あるいは、

1. 会議室の http URL を入力します。
2. **Apply** をクリックします。
3. **OK** をクリックします。

制限事項 (Traveler)

一般

このベータ版では、SSL を使ったサーバー間通信はサポートされていません。

カレンダー

- 繰り返しカレンダー・エントリーの議長は、イベントが予定、1 日のイベント、またはすべてのインスタンスに適用されなかった 1 つ以上の変更を含む会議の場合、iOS カレンダー・アプリから "すべてのイベント" に関して、変更を保存するオプションがない場合があります。変更は、選択したインスタンスにのみ自動的に適用されます。
- 複数のインスタンスに適用されるゴーストの招集やその他の通知に応答する場合、招集された側には "このイベントのみ" または "すべてのイベント" に対して保存するオプションを持つ場合があります。選択したオプションにかかわらず、アクション (出席、辞退、借り出席) が基になる通知に対して実行され、会議の複数のインスタンスに適用される場合があります。
- Notes で作成されたカレンダー イベントのインライン添付ファイルは、現時点ではサポートされておらず、デバイス クライアントには表示されません。

既知の問題 (Traveler)

- ロケーションの更新に関する Apple の深刻なバグのため、すべての場所で座標が 0,0 にマップする問題の回避策を実装しました。Apple は iOS 13 ベータ版から問題の原因となった機能を削除しましたが、iOS 13 がリリースされるまで修正プログラムがリリースされたことを確認できていません。この問題には次の現象があります。
 - 場所を持つカレンダー・エントリーには、常に 0,0 のマップが表示されます。会議の作成時に場所を検索して選択すると、イベントの議長のみが正しい座標を表示します。
 - 場所内の任意のテキストをタップすると、URL や電話番号などの場所の一部を選択する代わりに、マップ アプリが 0,0 に開きます。発信に必要なリンクまたは電話番号の代わりに説明部分を使用します。
- iOS カレンダー・アプリはすぐにサーバーに辞退アクションを送信しない場合があります。カレンダー・アプリを強制的に閉じて、それを再び開くと、辞退が送信されることが確認できます。このリリースでは Apple によって部分的な修正が行われたため、この問題の発生を減らすために iOS 12.4 に更新することをお勧めします。